



学校だより

<http://www.sumida.ed.jp/ryogokusho/>

令和8年1月30日

墨田区立両国小学校

墨田区両国4-26-6

TEL 3634-7876



豊かなスポーツライフ@両國小

副校長 手山 晃洋

早いもので、もう2月になりました。今年度の学校生活も残すところあと35日（6年生はあと33日）となりました。走り続けた開校150周年イヤーから、151周年イヤーへとバトンが渡されようとしているところです。今月の学校だよりでは、「走る」ということを切り口に、体育及び運動について改めて考えてみたいと思います。

体育の授業の目標

私も子供の頃そうであったように、体育の授業を毎回楽しみにしている子供たちも多いのではないのでしょうか。学研教育総合研究所が昨年3月に発表した「好きな教科ランキング」でも、第1位でした。小学校の体育の目標は、『学習指導要領解説』に次のように示されています。

**心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、
豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成すること**

ここでいう「豊かなスポーツライフ」とは、生涯にわたり運動やスポーツに親しむことを指し、「する」だけでなく、「みる」「支える」「知る」など、多様な形で運動やスポーツと関わることを意味しています。

運動に親しむことができるような取組

両國小では体育の授業の他にも、子供たちが運動に親しむことができるよう、年間を通して様々な取組を行っています。先日行われた持久走大会もその一つです。自分の力を精一杯発揮して走る子供たち（する）、その姿に大きな声援を送る友達や保護者・地域の皆様（みる）、そして運営に携わる教職員や、毎年コースの安全管理にご協力いただいているPTA体育部の皆様（支える）と、「豊かなスポーツライフ」の姿が随所に見られ、学校全体が温かな一体感に包まれました。



持久走大会 (R8.1.17)

地域では・・・

地域に目を向けると、七ヶ町の子ども会において、年間を通じてスポーツ大会（相撲大会・ドッジボール大会・Tボール大会・水泳大会・サッカー大会）が行われ、毎回、七色のTシャツを身に纏った子供たちの熱い戦いが繰り広げられます。大会当日は、PTA体育部の皆様の支えによって運営され、地域のスポーツ団体の両国セブンアローズ（野球チーム）、RFC（サッカーチーム）、RSC（水泳チーム）の皆様にもご協力いただいています。また、本校の体育館では、夜間や休日に大人の方々が、卓球（両国卓球クラブ）やビーチボールバレー（両国倶楽部）で汗を流し、運動を楽しんでおられます。PTAでは、保護者間および教職員との懇親・交流を目的として、ビーチボールバレー大会や卓球大会を実施しています。

学校・保護者・地域が一体となり・・・

このように振り返ってみると、学校・保護者・地域が一体となり、この両国の町で「豊かなスポーツライフ」が築かれていることを改めて実感します。少し余談になりますが、小学校の担任教員（専科教員やまなびの教室担当を除く）は、基本的に全ての教科を指導できますが、それぞれ専門とする教科をもっています。実を申し上げますと、副校長である私は体育を専門とし、山崎校長も同じく体育を専門としています。

「豊かなスポーツライフ」の恵まれた環境の下、教育目標である知・徳・体のうち「体」にあたる「たくましい子ども」の育成に向けて、今後も教育活動の充実に努めてまいります。